

## 平成24年度第3回海老名市介護保険運営協議会 結果

日時：平成24年12月21日(金)  
午後1時30分～午後3時  
場所：海老名市役所 701会議室

出席委員 13名

田中会長、山川副会長、山名委員、池田委員、露木委員、花田委員、樋口委員、橋本委員、内田委員、吉野委員、千葉委員、西海委員、三田委員、

欠席委員 1名

新倉委員

事務局（保健福祉部） 7名

猪熊理事兼保健福祉部長、清田保健福祉部次長、長田参事兼高齢介護課長、内田介護保険係長、中島介護認定係長、藤本

1. 開 会（司会：長田課長）

2. あいさつ

猪熊理事

田中会長

〈猪熊理事・清田次長 退席〉

3. 議 題（進行：田中会長）

（1）（仮称）海老名市地域密着型サービスの事業に関する基準等を定める条例等について

・「資料1-1」「資料1-2」により事務局（内田）より説明

意見

委 員：多床室の希望があるのは本人からなのか施設からか？

【資料1-1 5-(1)-③居室の定員】

事務局：一般的な意見として、利用者の多様なニーズに応じていくことが妥当と考える。

委 員：多床室ではプライバシーの尊厳等も言われている中で、規則などで『プライバシーの配慮』について規定するのか

事務局：条例適用となる既存施設はない。実際にそのような施設ができるときに

は考慮していかなければならない事項。

委員：認知症の方の多床室は厳しいのではないかと思うが・・・

委員：多床室は賛成。待機者の問題もあるので、プライバシーは部屋の大きさなどで確保をした上では良いと思う。『プライバシー』を前面に出しすぎなのではないか？多床室であれば事故のときに同室者が連絡したりできることもあると思う。

委員：認知症の人にとってはどうなのでしょう？

委員：個人的には、個室より多床室のほうが単価が安くすむなど『金銭面』も大きな問題であると考える。

認知症にはコミュニケーションは非常に大切、予防や症状軽減につながるとまではいえないが・・・

委員：認知症と一般高齢者の施設を分けることはできないのか？と思う。

老々夫婦は一人になったときに施設（入所）を考える。待機者が少ないのであればよいのでは。

委員：規則では決められないが、施設側で考えてもらいたいですね。

委員：いろいろな施設があってよい。入所者が良い方を選択すればよいことだと思う。

## （２）要介護認定の状況について

### ・「資料 2」により事務局（中島）より説明

#### 意見

委員：要介護 5の方が減少してきているのは亡くなっているからか

事務局：高齢化もしているのでなくなる方も増えている。

委員：認定してもサービスを利用していない人、更新していない人は数字に入っていますか？

事務局：入っていません。

委員：基準時間とは？

事務局：コンピューター判定による時間。この時間をみて全国的な基準となっている。その他の詳細は認定調査員の報告書類によりくみとり、審査員がみる。

一次判定が大切なので調査員のスキルアップが非常に大事。

委員：調査の日には本人はとても頑張っていて、日頃できないこともやってしまう。

事務局：そのために家族の立ち合いの方の意見が重要となるので必ず立会者をたて日頃（～1か月）の状況を聞き取っている。立ち合い者の意見は重要。

委員：介護度によってサービスを受けられる額が違う。施設では同じサービスをうけられているのでは？

委員：与えられている環境は同じかもしれないが『手間代』として金額が違っている。

### (3) その他

議長(会長)： 委員の方からご意見・ご質問はありますか？

#### 意見

委員：「資料 1-6」の太字部分の意図は？（P25(8)・(9)・(10)）

事務局：変更・新規追加の部分です。

委員：施設の避難訓練などのチェックは市でやっているのか？

事務局：消防立ち合いのもとでおこなっている。

委員：東柏ヶ谷にあるサロン（銀の椅子）への補助は？

見学に行ったが大変良いこと（取組）だと思った。

委員：（補助は）社協がおこなっている。

委員：自治会や民協で実施している。私も来年度に開設したいと思い動いているところです。

委員：自治会は役員が変わるので温度差があり苦慮する。

事務局：次回は4月末～5月中旬を予定している。

詳細については改めて連絡させていただきます。

### 4. 閉会（山川副会長）